

エプワース市オーバースピル市場における女性の安全のためのファミリーサポートセンターの引渡し

5月29日、女性の安全のためのファミリーサポートセンターの開所式が、エプワース市オーバースピル市場において開催されました。本センターは女性と少女のために安全な居場所を提供するもので、性と生殖に関する健康と権利にかかる様々なサービスを受けたり、職業スキルを身につけることができます。また、GBVを防止するための啓発活動も行われます。このプロジェクトは、我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力から90,909米ドルが支援され、現地NGOカツウェ シスターフッドによって実施されました。

開所式には、田中大使、ニヨニ女性・コミュニティ・中小企業開発大臣、ムシュランガ同副大臣、ジュモ・カツウェシスターフッド代表、エプワース市関係者及び多くの地元コミュニティ住民が出席しました。

エプワース市のオーバースピル市場では多くの女性が子ども達とともにインフォーマルな商売に携わっています。しかしながら、市場では、十分に安全が確保されておらず、窃盗やジェンダーに基づく暴力の被害者になることが少なくありませんでした。カツウェ シスターフッドは、何年にもわたりエプワースにおいて女性と少女のための性と生殖に関する健康と権利(SRHR)の確保を支援してきました。

新しく設置されたファミリーサポートセンターでは、市場で働く女性やその子ども達に安全な居場所を提供し、性と生殖に関する健康と権利にかかるカウンセリング、治療、心理的・法的サポートといった包括的なサービスを受けるのに加え、職業スキルを学ぶことで自立出来るようになります。さらに、本センターには警察窓口が設置されGBV案件を直ちに通報できるようになります。

本センターではまた、コミュニティ住民にGBVにかかる知識を増やす啓発活動を行い、社会規範を変容させていく予定です。同センターでは毎年3,000名の女性と少女を支援するとともに、2万人の住民に啓発を行う見込みです。

式典では、田中大使は、新しいセンターが多くの女性に力を与え、GBVが無くなるようコミュニティ住民の姿勢を変える助けとなることを期待していると述べました。次に、ニヨニ女性大臣は、我が国支援に対して感謝を述べるとともに、新センターは、女性のエンパワメントの力になりGBV被害者になることは無くなるだろうと挨拶しました。ジュモ代表は、新センターが女性にとって安心して包括的な街に向けたステップになることを期待していると述べました。



建設されたファミリーサポートセンター



カツエシスターフッド・ジョモ代表、ニヨニ大臣、田中大使、ムシュランガ副大臣



新しいセンターの受益者



グループカウンセリングルーム



引渡式に参加した住民たち



ニヨニ大臣によるスピーチ



田中大使によるスピーチ



ジョモ代表によるスピーチ



建設された施設の受益者



日本からの支援を示す看板